

# 夢に向かって

地域の方の笑顔のために——

高橋 <sup>なな</sup> 奈々 さん (県北中3年)

私の夢は公務員になることです。地元や地域の方の近くで仕事をしてみたいという思いが強くなるので、地方公務員を目指したいと思っています。

私は、町子ども司書の認定を受けています。講習や活動を行う中で、町の職員の方と触れ合う機会がたくさんありました。職員の方が仕事をする姿や態度を見て、『私もこうなりたい』『私もこんな風に仕事をしてみたい』と思ったことがきっかけになっています。

生徒会活動では、新聞や書類を作ることが多くあります。以前に一度、確認を疎かにしてしまい、発行した新聞に間違いがあったことがありました。それを繰り返さないよう、期

日までのスケジュール管理をきちんとし、誤字脱字などの間違いが無いように、しっかり確認をするようにしています。公務員に限らず、社会人になった時に役立つと思うので、継続して取り組んでいきたいです。

公務員になったら、地域の人たちに笑顔になってもらえるように頑張りたいと思います。自分が関わったり考えたことが実現し、地域活性化につなげることができたら嬉しいです。



生徒会で書記を務める高橋奈々さん。美術部では副部长も務めています。高橋さんの「地域の方に笑顔になってほしい」と力強く語る姿は、とても頼もしく感じられました。

町長  
コラム



ま  
真 ころむ

【第12回】

## せっちゃん、よねちゃん、けーちゃん、よっちゃん、ひろちゃん

「明日、笹巻づくりするんだけど、来る？」と電話。次の日。塚野目集会所。この日は年に一度の笹巻づくり。車を降りると、開いた窓から笑い声が聞こえてくる。盛り上がった跡が残る集会所。塚野目地区を中心にかくさんの人が集ったのだと。なるほど。話に花を咲かせてたら「笹巻作らんしょ」と。ん？ やっぱりそうなるよね。否応なく…。教えてもらうけど上手くできない。結局食べるだけ。調子のって5つ。で、その後大変、寝てた。

「いっぶくの会」は平成29年から。第3日曜日に開く。せっちゃんを親方に、よねちゃん、けーちゃん、よっちゃん、ひろちゃんが切り盛り。「散歩や農作業の合間、気軽に一服できる寄合所を」。名前にはそんな思いが込められてる。思うだけでもすごいのに、やってしまう実行力、すごいなあ。

笹巻づくりも、山に笹の葉を取りに行くことから始める。来てくれる一人ひとりの顔を思い浮かべて汗をかく。そして、居心地の良い場所にしてる。

町内には、こういった活動をしてるグループがいくつかある。地域を支える人たちがいる。それが本当にありがたい。

引 地 真

